



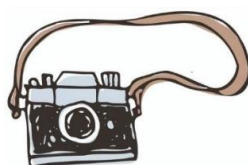
共和地域を元気にしてくれる人にインタビュー!!
三橋舞衣さん



昨年のかま公民館だより12月号でも紹介しました、慶應義塾大学3年生の三橋舞衣さんの美祢市での活動内容や思いなどをインタビューから掘り下げてご紹介したいと思います！

↓まずはプロフィールから

- ★氏名 三橋舞衣(みつはしまい)
- ★職業 慶應義塾大学 総合政策学部
- ★出身・居住 神奈川県出身 在住



- ★趣味・特技 クラシックギター、カフェ巡り、コーヒー、テレビ鑑賞

- ★現在の主な活動 長谷部葉子研究会にて教育を通して、地域を考えている。アフリカ中部のコンゴ民主共和国の人たちとオンライン交流をしている。令和3年11月から令和4年4月まで美祢市に滞在予定。インスタアカウント→【mai.in.mine】

《(インタビュー | 嘉万公民館長 末永) (編集・構成 | 嘉万公民館主事 桑原)》

—マイさんが美祢市を選んだきっかけは何だったんですか？

美祢市と慶應義塾大学の交流プログラムを開始するために、美祢市教育委員会にインターン生として美祢市に滞在しています。

市内の中学校に訪問し、交流プログラムの可能性を日々探っています。

—長谷部ゼミを選んだきっかけを教えてください。



先生の授業を受けてコンゴ民主共和国の人と出会い、彼らのことをもっと深く知りたくなったこと、長谷部先生の下で学びたいと思ったからです。

日々日本語を話すことができるコンゴの人たちとオンライン会話で交流を深めています。

—マイさんが感じた美祿市のいいところは？

自然が豊かで、水が本当においしい。神奈川から美祿に戻ってきて飲んだ一杯の水で、身も心も清らかな気持ちになりました。

自然が豊かということは、反面生活するうえで制限が多いということだと思います。その制限の中でも、みんなが知恵を出し合い、工夫して生活している点が都会にはない魅力だと感じました。

地域の方々が美祿市に縁もゆかりもない私を温かく受け入れてくださり、美祿市に限らず山口県の郷土料理・名所などを紹介してくださったり、実際に案内していただけてとても嬉しかったです。

—共和地域のイベントにも積極的に参加してくれました。マイさんが感じた共和地域の魅力も教えてください。

住民の皆さんが主体となって【住民の、住民による、住民のための活動】がコロナ禍であっても継続されていることに魅力を感じました。イルミネーション・どんど焼き・子ども会・八代にこにこ会に参加してみて、人と人の距離がとても近く、互いに支え合っていることがわかりました。

神奈川ではそこまで他者に関心がなく、人の温かさを感じる機会が少なかったため、より印象に残りました。

はじめて来た時に『～の孫です』と小学生が自己紹介していたことにとても驚きました。人と人のつながりが家族ぐるみ・地域ぐるみで長く続いていて、子どもたちを地域の宝として、地域全体で見守り育てていることを強く感じました。

—マイさんがこれからしてみたいことは何ですか？

もっと美祿市のことを知りたいです！例えば、八代でそば作りを経験して、山口県や美祿市の郷土料理に興味を持ちました。どなたかぜひ作り方を教えてください！家族に食べさせてあげたいです。

あと農業もやってみたいです！トラクターなど農業機械に乗って作業を経験してみたいです。今年の8月ごろイギリスに留学するので、美祿市に滞在した思い出として、何か果樹や作物を植えて数年後に見に来たら面白そうですね♪

—マイさんこれからも頑張ってください。応援しています！

ありがとうございます。皆さんも頑張ってください！



☆いろいろな活動に参加してくれました☆



共和地域の人口・世帯数
(令和4年1月31日現在)

人口 1,209人
(-2)

男 564人
(+1)

女 645人
(-3)

世帯数 607世帯
(+1)